

高齢社会 少子社会をむかえて それを支える社会づくりを

2000年に介護保険制度が始まって以降、介護労働者の雇用・賃金・労働条件は悪化していきましました。更には、障害福祉分野、児童福祉分野、保育分野等においても、労働条件の悪化が続いています。

この結果、福祉・介護職場に働く人材の不足が深刻化しています。

人を募集しても集まらない、集まってもすぐに退職してしまう。実習生は、福祉現場に就職したがない。何よりも、将来に対する希望がない。

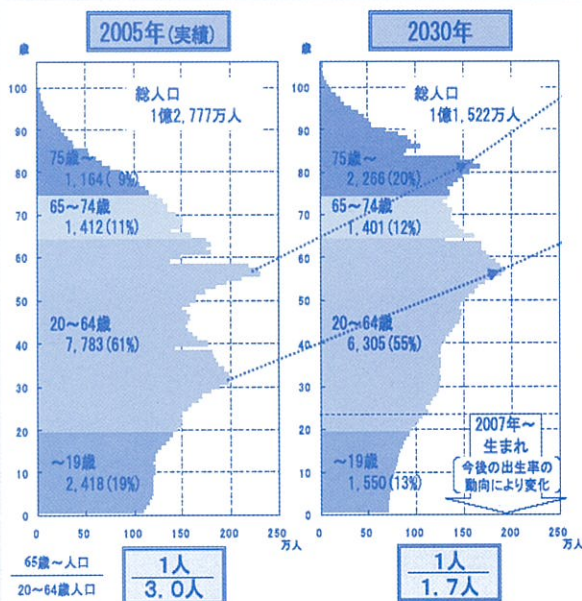
こんな厳しい実態が多く報告されています。

このような状況を受けて、厚生労働省は、「福祉人材確保指針」の見直しを行いました。人材確保を実現するためには、まず福祉人材を定着させるに足る賃金水準を確保しなければならず、その裏付けとなる介護報酬・福祉運営費水準を確保しなければなりません。

介護する人が幸せでなかったら、介護される人も幸せになりません！

2009年度介護保険制度改定に向けて、北海道からも世論を盛り上げるため、シンポジウムを開催していきます。

増え続ける高齢者を 支える仕組みが必要です



連絡先

自治労北海道本部公共サービス政策部

札幌市北区北6条西7丁目北海道自治労会館2階

TEL 011-747-3211 FAX 011-700-2053 E-mail: hirakawa@jichiro-hokkaido.gr.jp

公開シンポジウム次第

2008年7月19日(土)

受付

13時

内容

13時30分 実行委員会あいさつ

13時40分～14時20分

講演「介護元気で日本あっ晴れ」

講師 作家・介護ジャーナリスト

沖藤 典子 さん

14時30分～16時30分

シンポジウム

サービス提供者 介護労働者
事業者

利用者 利用者家族
障害当事者

コーディネーター 沖藤 典子さん

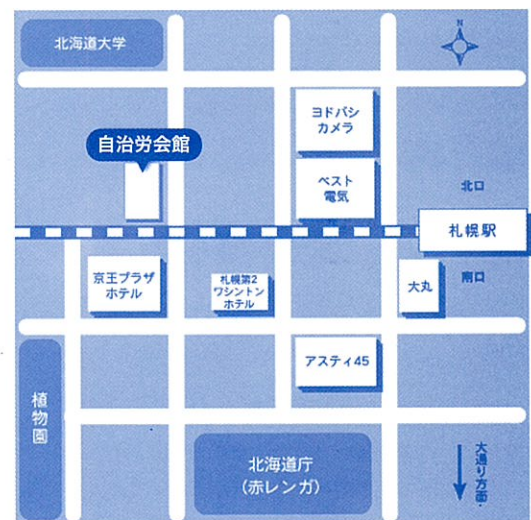
16時30分

集会アピール

16時40分

終了

公開シンポジウム会場地図



札幌市北区北6条西7丁目
(JR札幌駅西口より徒歩5分)

公開シンポジウム実行委員会

北海道社会福祉士会、北海道ホームヘルプサービス協議会、北海道介護福祉士会、北海道介護支援専門員協会、北海道の高齢社会をよくする女性の会、DPI北海道ブロック、自治労北海道本部、北海道福祉ユニオン、札幌地区連合

後援

北海道、札幌市、社会福祉法人北海道社会福祉協議会、社会福祉法人札幌市社会福祉協議会、北海道新聞社、朝日新聞北海道支社、毎日新聞北海道支社、読売新聞北海道支社、連合北海道